



決勝レポート

2023/8/20 Rd-7 モビリティリゾートもてぎ

天候：晴れ/曇り 気温：34℃ 出走台数：22台

観客数：19日(土)5,200人 20日(日)8,900人 合計14,100人

昨日に続き酷暑のモビリティリゾートもてぎ。

午前中のフリー走行で決勝セットアップを確認し、両選手は好感触でスタートを迎える。最前列2番グリッドからスタートの太田選手はしかし、マシンスタート手順にミスがあったか、ギアが1速に入らず大きく出遅れ最後尾まで後退してしまうことに。

牧野選手は抜群の蹴り出しで複数台を抜いて1コーナーへ。その先、2コーナーの立ち上がりでは、先行するローソン選手がコースアウトから挙動を乱しスピン。制御不能となったローソン選手を避けようとした後続マシンが激しく接触し、牧野選手はそれらをよけきれずに追突し大きく宙を舞いタイヤバリアに激突してしまう。

3台のマシンが事故に巻き込まれストップ、その他にもダメージを負う車が発生し、レースは即座に赤旗中断となった。

およそ30分の中断の後、レースはセーフティーカースタートで再開。

太田選手は後方から3台をオーバーテイクし、タイヤ交換ウィンドウの開く10周目を終えたところでピットイン。太田選手が作業エリアに入るところで、ピットから離れる佐藤選手と太田選手が接触。太田選手はフロントウィングを破損してしまう。ウィングを交換しコースに復帰した太田選手だったが、フロント足回りにもダメージがありリタイアすることになってしまった。このアクシデントに対し、佐藤選手にアンセーフリリースのペナルティが科された。牧野選手は精密検査の結果身体に大きなけがなどは無くまた、事故に絡んだドライバーは全員無事であった。

5：牧野任祐 選手 リタイア

スタート良く、3つほどポジションを上げて2コーナーを抜けたところで起きた多重クラッシュを避けられずリタイアとなってしまいました。即座に対応してくれたコースマージャーやドクターに感謝すると同時に、皆様にも大変ご心配をおかけしました。

マシンも大きなダメージを負い、チームにも負担をかけてしまいます。

落ち着いてしっかりと体調を整え、最終第7大会鈴鹿で皆さんの思いに報いるレースをしたいです。

6：太田格之進 選手 リタイア

スタート時のマシンの操作手順にミスがありせっかくのポジションを生かせませんでした。さらにピットインした際にアンセーフリリース車両にぶつけられ結果リタイアとなってしまいました。コース上では3台をオーバーテイクできましたが、予選結果を決勝で活かせず残念です。しかしながら、非常にポジティブな週末でした。最終大会鈴鹿では、予選決勝と安定してパフォーマンスを出し切りたいです。